

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和7年7月28日(月)  
午前10時1分から午前11時49分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長) 鬼頭博和 (副委員長) 塚崎海緒  
(委員) 梅村均、日比野走、伊藤隆信、関戸郁文、榊谷規子
- 5 執行機関出席者 建設部長 西村忠寿、都市整備課長 加藤淳、同課統括主査  
大徳康司

6 事務局出席 議世事務局長 丹羽 至

7 委員長挨拶

8 報告事項

(1) 岩倉市自転車活用推進計画について

・建設部長挨拶

都市整備課長：岩倉市自転車活用推進計画に基づき説明

**【質疑】**

榊谷委員：フォローアップ方法について、PDCAのチェックはどれくらいの頻度で行う計画か。

都市整備課長：進捗管理の具体的な回数や時期は現在所管課に決めている状況である。原則として年1回やっていきたいと考えている。今年度中にモニタリング指標を設定し、それに基づいて今の施策でよいかどうか確認していきたい。

榊谷委員：ヘルメット着用の数値目標は10%増でよいのか。もう少し大きな目標を持ってよいのではないか。

都市整備課長：検討委員会でもかなり議論になったところである。市民に比べて高校生の着用率がかなり低い。ヘルメット着用の努力義務を知っていても着用されていない状況がある。いろいろな意見があり低めに設定したが、中間段階で状況がよければ目標を上げることも考えられる。愛西市の高校の取組も参考にしながら進めていきたい。

榊谷委員：市民はいかがか。自分の周辺では50%近く着用していると思う。現在の27%から37%という目標でよいのか。

都市整備課長：市としてもヘルメットの購入補助を行っており、まずはヘルメットを所有していただくことを考えたい。所有した方は引き続き着用していただ

くという流れになると思う。今の状況を見るとなかなか50%を目標にするのは難しいと考えてまずは10%増を目標とした。

榊谷委員：ヘルメットの購入補助は65歳以上である。高齢の方は購入補助を受けて購入して着用している方が多いので、市民全年齢で考えるとこれぐらいの率になるかもしれない。高齢者の着用率が高いと思うが、年齢を分ける必要はないか。

都市整備課長：今のところ分けていなかったが、言われたとおり高齢者の方の着用率が高いと思う。ヘルメットの購入補助は未成年か高齢者を対象にしているところ。その方たちは購入して着用していただいていると思う。自転車の利用を見ると岩倉市は未成年と高齢者の事故率が県内で高い状況にあるため、まずはそこを重点的に狙っていく形になっていると思う。着用率は低い状況であるため、5年後に情報を見てまた検討していきたい。

塚崎副委員長：観光のレンタサイクルの利用環境確保については現状維持か。台数を増やしたり土日でも利用できるようにしたりするような予定があれば教えていただきたい。

都市整備課長：今後の検討事項になると思うが、現在は現状維持を考えている。土日でも利用可能にすると人件費もかかると思う。現在は市として予算は支出しておらず、いわくら観光振興会の自主事業であるため、いわくら観光振興会との調整になるかと思う。

塚崎副委員長：もっと広く利用できるようになると思う。ドライバーに対する呼びかけと自転車等の安全を確保するための規制の創設で、ドライバーへの規制があるが、ドライバーにはどのように呼びかけていくのか。また、現状の道路の制限速度そのままではいいのか心配な道路もあるので、そういったことも検討されていくのか教えていただきたい。

都市整備課長：ドライバーに対する呼びかけについては、市としては広報やホームページでの呼びかけになると考えている。現在の制限速度については、アンケートでヒヤリハットを感じているところもあった。今回の計画策定では現状と合っているのかまでは見ていなかったため、今後10年間で見ていきたいと思っている。

塚崎副委員長：田原市の自転車活用推進計画の写真が載っていて、被災状況の把握等のための市役所への自転車配置というものがあるが、これは職員がこれに乗って現状を把握しに行くために自転車を設置しているという資料か。

都市整備課長：そのとおり。災害が起きることはなかなかないが、こういう形で市として整備して、職員が行く際にこれに乗っていくというところまで検討さ

れているのだと考えている。

塚崎副委員長：これは普段も使用している自転車か。

都市整備課長：そう思う。被災時は優先的にこのように利用するよう庁内で呼びかけを行っているのかと思うが、そこまでは聞いていない。

塚崎副委員長：パブリックコメントの内容を教えてください。

都市整備課長：自転車駐車場の有料化については反対という意見があった。コンパクトシティである岩倉市に最適な自転車交通システムとして検討されていることは評価できるという意見もあった。スマホ使用や飲酒運転、危険運転を見かけた際に声をかけるなど、自転車の安全利用に関して広報啓発の際に明記すべきという意見もあった。計 14 件の意見があり、計画策定の参考にさせていただいた。

鬼頭委員長：自転車駐車場の整備のことでお聞きしたい。岩倉駅南の線路沿いの自転車駐車場が現在閉鎖されており、高架下に設置する計画はどのようになっているか。

都市整備課長：協働安全課が所管している。自転車駐車場廃止理由については、歩行者と自動車による交通死亡事故が令和 4 年度に発生し、警察と協議した結果、自転車駐車場を廃止し歩道を整備する結論に至った。市民周知については令和 6 年 7 月号の広報いわくらで行い、廃止する直前の 10 月から 11 月に貼り紙による周知を行った。アピタ岩倉店の南側の高架下自転車駐車場に自転車ラックを設置して収容台数を増設する対応をしているところ。

鬼頭委員長：廃止について市民から苦情や要望はあるか。

都市整備課長：市民の声はあったようだが、今のような回答を行ったとのことである。

鬼頭委員長：市役所の自転車駐車場も関係ない自転車がかなりとまっているようで、通行しにくいという声もある。市役所の駐輪の仕方も改善したほうがよいのではと思っているが何か検討されているか。

建設部長：基本的には庁舎管理を行う行政課が行っているので私達が回答する立場ではないが、朝の早い時間から宿直が立って注意している姿を見ている。開庁時間内にはそういった対応もできないが、そういった対応を見たり聞いたりしているところである。

鬼頭委員長：東側にも以前はよく自転車がとまっていた。今は花壇があるのでとまらなくなった。その分、西側が混雑しているので対策をしていったほうがよいのではないかと思う。

伊藤委員：大山寺駅周辺の駅の自転車駐車場が西と東に分かれており、駐輪台数

に偏りがある。駅に近い場所に駐輪が集中して混雑している状況について、難しいと思うが何か対策できないか。

都市整備課長：協働安全課の所管であるため詳しく回答できないが、大山寺駅周辺の駐輪状況についての資料を見ていただくと、大山寺駅周辺は東西で混雑に大きな差がある。看板の設置や巡視は行っていると思うが、具体的にどうしていくかは今後の検討課題だと思う。

石仏駅周辺について駅東側の駐輪について所管課がNEXCO中日本に協議したところ、空いている西側の自転車駐車場を利用してほしいと言われたが、今後も継続的に協議していかなければならないと思っている。

塚崎副委員長：岩倉駅東の開発が進んでいるが、自転車駐車場の設置は検討されていないか。

都市整備課長：市の土地については桜通線の南北に江南岩倉線という都市計画道路があり、そちらを先行買収している土地である。その土地を自転車駐車場として活用できるかという点、なかなかできない。市として新たに土地を買って自転車駐車場として整備していくということもあるかもしれないが、現状ではそこまで考えていない。今後10年間の自転車駐輪場の利用状況を見ながら必要であれば検討していかなければならないと思っている。

建設部長：無料の自転車駐車場の扱いについては、駅東の再開発を行った際に自転車駐車場整備センターにお願いしてラックを設置してもらった。自転車駐車場整備センターは市がお金を出さなくても自転車駐車場の収入で財団法人としてやっており、岩倉市だけではなく全国展開されている状況である。春日井市も既に無料駐輪場がない。なぜかという点、財団法人からすると、無料の自転車駐輪場を置き続けることで景観が損なわれたり自転車盗が発生したりするため。市としてもそういう流れに持っていくというのがこれからの時代の流れではないかと言われている。受益者負担ということからしても、自転車駐車場を整理する人件費もかかっているし、無料の自転車駐車場をつくり続けることが行政としてどうかと自分はずっと思っている。

塚崎副委員長：岩倉市自転車等の放置の防止に関する条例があり、第8条に利用者等の責務を定めている。市としてもこういった計画を進めているし、利用者の責務も定めていることから、無料の自転車駐車場をなくしていくことは市民の権利義務にかかわるところであり、よくないと自分は考えている。自分は自転車を利用することが少ないが、自転車をゼロカーボンや健康、観光等で利用していくという市の方針からすると、無料の自転車駐車場をなくしていくのは岩倉市らしさをなくしていく問題になると自分は考えているがいかがか。

建設部長：桜通線沿いということになると、市の中心部に古い自転車の放置が増えていき、周辺の方からもそういったものを設置し続けるのはどうかという声もあった。市の中心部の都市計画道路沿いにそういったものを設置するのは都市開発の面からも違うと自分は思っている。不便という声もあるが、少し離れたところに設けるのはよいかと思う。

塚崎副委員長：自分は名古屋で仕事をしているので、様々な業者がそういった事業を行っており、駅のすぐそばに設置されているところもよく見かける。名古屋市内は確かに有料が多い。

建設部長：有料でラックが設置されている。せめてそういったものがよいと思っている。

## (2) その他

なし

## 9 協議事項

### (1) 行政調査について

- ・事務局から日程及び視察先について10月15日に神奈川県相模原市、10月16日午前には埼玉県宮代町、午後には茨城県境町を視察することが決定したと報告した。

鬼頭委員長：帰りが夜遅くなるがよろしく願います。

次回8月6日に協議会を開催するが、それまでに視察先への質問事項を出していただきたい。正副委員長でも検討する。

執行機関にも政策提言に向けてという形でヒアリングを行う予定。

## (2) その他

なし

## 10 その他

なし